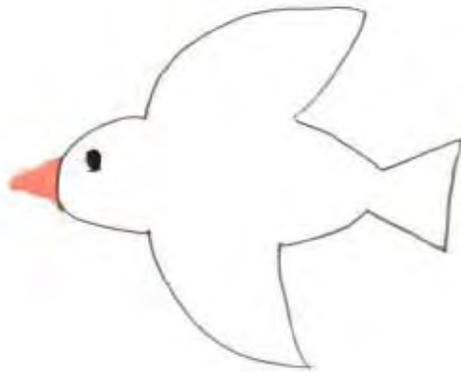


戦争法案反対！障害者の権利・自由・平等を守れ！

平和への願い



戦争法案反対！ 障害者の権利・自由・平等を守る行動アピール 案

国が「国民の安全」と言うとき、必ずといっていいほど、私たち障害者や子どもやお年寄りへのお金が削られ、戦車や戦闘機、武器購入へのお金が増やされます。

いま国会では、日本を「戦争できる国」にする法案が審議中です。安倍首相が質問に答えれば答えるほど、この法案が、アメリカのしかける戦争への協力と他国を武力で威嚇するための戦力を持つためであることがハッキリしてきています。

敗戦から70年目の夏、憲法が殺されようとしています。

今、私たちは、
多くの人たちの命と涙のうえにつくられた
憲法と障害者権利条約に守られて生きています。

だれもが差別されることなく、平和で安心して生きるために
命を奪い、障害を生み出す戦争に手を貸すな
憲法を殺すな

平和でなければ、障害者だけでなく、あなたと、あなたに繋がる「命」を
育むことも輝かすこともできません。

障害者の権利・自由・平等を奪い、憲法を殺す「戦争法案」に
私たちは絶対反対です。

私たちは、安倍内閣に「戦争法案」の廃案を強く求めます。

九条を
守ってください！
☺おれよし

呼びかけ人(2015年9月9日)

伊藤浩 大川美和子 上田麻里子 森谷光夫 中村亘 高橋幸子 小川純子 平澤恵美
小山千ひろ 奥村芳春 小川春水 久野賢一 武藤信一郎 熊谷由美子 佐藤さと子
磯崎明美 石田誠樹 中村くに子 きしの知子 梅尾朱美 舟橋一男 近藤直子 辻直哉
峰島厚 木全和巳 林智樹 長江節子 渡邊照予 稲垣聡 渡邊覚 市江由起子
堀場洋二 山田昭義 上田孝 戸水純江 橋井正嘉 平山晶士 向幸子 宇川賢彦
羽田野努 岡原真吾 岡山加代子 丸山京子 吉川美幸 吉田博 源平由佳 後藤強
荒川元仁 高橋義久 今治信一郎 佐藤三紀 佐藤正章 山崎利浩 篠原豊郷 篠原和子
柴山まさえ 松永誠司 森瀬京子 西原恵美 石崎孝 大久保幸子 田口真理子 萩原千
秋 末田友子 鈴木清覺 鈴木拓生 森脇拓恵

賛同人

小澤久志 西村秀一 谷川修 石井一由記 西山咲子 浅井陽子 浅野美喜 三島三千子
小田雅樹 浅原芳美 浅野善朗 山田三喜雄 井上学 井上京 丹羽成利 戸谷洋子
國島昂



きょうされん愛知支部

支部長 小川春水(9月7日逝去されました。)

私は今、病のため入院をしています。本来なら支部長として戦争法案反対運動の先頭に立たなければならないのですが、それが叶いません。残念です。

しかし、私の代わりに、8月30日の国会前12万人集会に、愛知の障害者関係者がバスなどで50名が参加してくれました。たくさんの会員のみなさんが必ず、障害当事者を運動の主人公にして「アベ政治を許さず」戦争法案反対の運動に立ち上がり、廃案を勝ち取ることを信じています。

戦争が近づけば、障害者は邪魔者にされます。排除されます。差別されます。70年前の日本で「ごくぶつし」「非国民」と言われた歴史を繰り返してはなりません。ナチスドイツが障害者を虐殺した歴史を、日本がアジアの数えきれない人々を殺し、差別した歴史を忘れてはいけません。

私たちには日本国憲法があります。障害者権利条約があります。胸を張って「戦争法案は反対!」「アベ政治を許さない!」と言いましょ。行動しましょ。たたかい続けましょ。

障害を持つ仲間たちの、笑顔と夢ある未来を創りましょ。

大川 美和子

「家も肉親の命も仕事も何もかもを失って惨めだった」と戦争を語っていた母親。「戦争をまぜみんなで止めなかったの?」と子どもころ母親に尋ねたことがありました。平和の時代に産まれた私にとっては、良識のある大人達が居るのに「何故?」と不思議に思えました。失われた500万もの命があったことを忘れてはなりません。

小山 千ひろ

終戦の時、私は3歳でした。疎開先で防空壕をいったり来たりしていて転び膝をいため、現在身体障害者です。

戦争は新たな障害者をうみ出します。世界に誇れる平和憲法を堅持し、お互いの人権が尊ばれる社会を共につくり出しましょ。

佐藤さと子

戦後70年の今年は、2011年の東日本震災以降、日本人の価値観が大きく転換したと感じたのと同じように、日本人に「戦後日本」について考える年になったと思います。アジア、太平洋戦争で2000万人の戦死者数。日本は310万でした。日本は被害者だけでなく、加害者でもあることを私たちは戦後の教育の中で教えてもらってこなかった。しかし、今歴史を自分で学び直す必要があると思います。戦争と障害者の歴史は「戦争と障害者のしあわ

せとは絶対に両立しえない」に尽きます。なぜなら戦争はなによりもまず障害者をもっとも大量につくり出すものであり、その最中には『障害者は戦争に役立たないとして生命さえ奪われるなど、差別がいつそう強められるからです』。河野勝行さんの言葉です。

磯崎 明美

私は、1943年5月生まれです。終戦を迎えたのは2歳3ヶ月でした。身体が弱く、食べる物も少なかった時代に出産した母は母乳も出ない状態だったそうです。母のかわりに祖母がヤギや牛の乳をもらい歩いたそうです。父は戦地に行っていて、上の姉は父が帰ってきた時、「知らないおじさんが家の中へ入ってきた」と、家の裏で小さな畑を耕していた母の所へかけてきたといえます。わが家は、古道具屋をしていて戦争末期には、「金物類を全て供託せよ」ということで商品がなくなる状態だったので店をたたんでしまいました。それからはとても貧しい状況が続き、兄妹の多かった我が家は、幼い頃、食べ物の争奪戦になり小さかった私は、いつも「芋ならばじっこ」と親が分けてくれても「ぼー」としていた当時、自分の前の物がなくなることがあった。ある時、一番初めにとった「ふかし芋」を自分の宝物入れにしまって、後でゆっくり食べようとしてすっかり忘れてしまい、その後、カビのはえた芋を見てすごくガッカリしたのを覚えています。私たちの町内では、めずらしく我が家は畑を持っていたので、私の小学生時代は芋や豆、イチゴと近所の子よりは食べ物がありましたが、肉や魚がなかなか手に入らず、今でも肉、魚があまり好きではありません。

母はいつも「戦争さえなかったら」とロー文字に結んでくやしがっていました。父がいなかった事、子どもに貧しい思いをさせたこと、母の姿はいつも畑仕事をしたり、少しでもお金になる様にと近所の陶器工場にパートにでかけたりと休んでいる姿を今も想像できません。気が付いたら寝たきりになって、その後、59歳の若さでこの世を去りました。私の20歳のお祝いを待たずに。父も戦後、店の再開は出来なかったもので、新しく慣れない仕事を始め金物の修理や、作った雨どいをかける仕事を始めて、母はいつも心配して父が帰って来るまで食事もせず待っていました。ある日、はしごから転落した時、母は外での仕事をやめるように強く言ったそうです。その事も含め戦争さえなければ家での商売だったので安心できたのにと。

平和でなければ食べ物も、又、親が子へ授乳もままならなかったことを親としての役割が果たせなかった母の想いを今、私は痛切に感じています。

中村 くに子

総合福祉法で いたぶられ 今度は 安保法案で弱者を追い払おうとしているのですか？ 私たちは 争いはいけない事 戦争はしてはならない事だと聴かされ もちろん次の世代に繋いでいく役割があるはずです。

私の母親は戦争のおかげで口減らしに幼いころから養女へ行き 散々苦勞させられたと聞いています 戦争が無ければ兄弟姉妹と暮らせたのに・・・。

日本が焼け野原になるさまを 日本だけではない 他の国も巻き込み また同じことを繰り返すことは 断固として止めてください。

総理!! あなたもいずれは高齢者になり動けなくなるのです そのときのことを想像してください。

伊藤純一

日本は70年間、戦争をしていません。これは憲法9条と外交の力だと思います。だが、政府は国際情勢が厳しくなったと憲法の解釈を変えて、「平和安全法制」を作ろうとしています。しかし、私には、「集団的自衛権」や「後方支援」でなぜ抑止力が働いて、平和になるか、わかりません。逆にアメリカなどの戦争に巻き込まれると思い、この法案は不安です。私は「戦争法案」としか思えません。

私は肢体障害者です。障害のある先輩達は70年前、「穀つぶし」「非国民」といわれ、大変な思いをしたと聞きます。政府はいうでしょう。「時代が違う」「人権を重んじる憲法がある」と。でも憲法の解釈を変えようとする政府は信用できません

戦争は障害者を生み出し、障害者の生活を破壊することは歴史が証明しています。私は戦争を体験していない障害者です。でも私は日本が外国の戦争に協力する法案を認めるわけにはいきません。「戦争法案 廃案」を強く訴えます。

戦争が国

日本

平和な世界で

ありますように
ハキハキ♡

人間と動物に平和を
 世界に平和を
 いじめるダメ
 せんそうはんたい
 みんななかよく

戦争は、いやです

平和が一番

平和が一番

平和ベスト

戦争の先には悲しみや後悔、さみしさなど、何も良い事が起きないという事を今一度考えて欲しい！何気なく生きている日々をととても大切にしてもらいたいと思います。

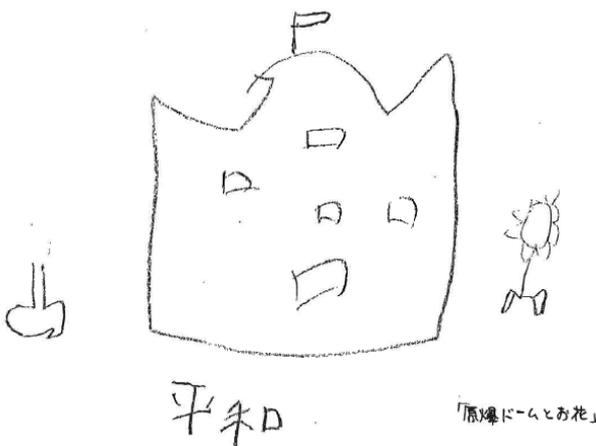
正直子供の頃は、平和？戦争？と今更につい思ってきました。でも結婚して子育てをする中で、戦争経験者の方のお話に誰に言われるでもなく耳をかたむけている子供達を見つめると、友へ「信実のことは「は」は「は」は「は」だ」と思いました。と同時にこの子供達に、戦争をある時点をくり返しはいいけないと強く思いました。

せんそう
~~せんそう~~なくするようにみんななかよくしたい
 1. みんななかよくわがやになるように
 11.

平和で幸せに暮らしたい



みんな
 なかよく！



「原爆にーんとお花」



平 断口日本であは
本間云日月 ちよらに

へいは日本でしごとがしたい

小学校あがる前に戦争をあげたことがあります
あんな悲惨なことは=席といやです。戦争のない国にして
ほしいです。憲法九条を守ってほしいです。

苦学して障害者を育てています。

戦争が初まるし障害者がいっぱいあふれます
これ以上苦学を国民にさせないで下さい。

戦争法案反対

正しい戦争はない!!!

この日本を他国が戦争で人々が死なす
今も元のエリートで今もエリートでいる
ッ

戦争法案 反対です。

戦争法案には反対します。

憲法九条を守って下さい。

アメリカの侵略戦争に加担で戦争が終わると、
障害者を生み出します。

・社会保障費を減らさないで。

軍備に使った金を増して介護報酬の減額など、
社会福祉に対する予算を削らないで下さい。

・法案の内容をきちんと説明して下さい。

・日本を戦争する国にしないで下さい。

人殺しはしたくない!

戦争もいらないです
 平和が実現するまで
 戦争は皆の幸せを二 halves します
 戦争は皆の幸せを二 halves します
 戦争は皆の幸せを二 halves します

たれもが安心して暮らせるように...

戦争は皆の幸せを二 halves します

戦争は皆の幸せを二 halves します

我が子が女に成る恐怖心の戦う母親に
 寄り添ってあげてください。

平和が実現するまで 戦争は皆の幸せを二 halves します

障害者が人権を認められ、使われたいと願う
 のは当然です。

障害者への理解が進み、安心して暮らせる
 ようになってきたのに、それがまた壊れてしまうのは
 世の中になってほしくありません。

障害がある人もない人もみんなが仲良く
 平和である世界が続いてほしいです。

私達の未来、障害をもつ人々の将来不安です。

自己負担があればサービスを受けるのをためらいます。

社会福祉の充実によって安心して暮らせます。

戦争法案反対します。
 アベさんヤメテ

戦争法案には、絶対に反対します！

先の戦争で多くの人が亡くなった。傷つた、苦しんだ、悲しい思いをした。戦争は悪い、という生命の尊厳を大切にしている日本の憲法を誇りに思っています。

先ず、賛成している諸先生方に銃を持たせ、戦争をしている最前線に行き体験し頂きたい。(生き帰ってこようか、は……) たいです。でも、戦争を体験したら、多くの人が「戦争は悪い、いけない」と言ってくれるから、でも、戦争をする方向へいこうとするのが理解できません。

「ヒタク」というミュージシャンの「陽はまた昇る」という歌の中に「あいかへう さよなら」というフレーズがあります。「あいかへう！ さよなら！ また、あした」と言える毎日をつくれるはず、と言っている日本であってほしい。けれど、隣国の兵隊も日本人も笑顔で毎日を過ごす日本は、あんなにいいと思いません！！

★ 戦世の絶えぬ 地球に一条の
光さしむ 憲法9条

★ テロ行進 法案反対 // 殺されも
殺しもさせぬ 世を残さねば

★ せめてもの 9条、反核、反原発の
シールを車窓に私は走る

オミカメあか作業所
保護者 出口 雅子

戦争はだめですよ

何かしたいんですか、
強行採決やめて
下さい。

朝起きて、仕事にでかけ、仕事が終われば家族と過ごし、休日には家族サービスや趣味に没頭。平凡だけど当たり前の暮らしが送れる平和な世界を誰もが望んでいます

子どもたちが戦場へ行くことになったら、と想像すると胸が痛みます。傷つけられるのも傷つけることも子どもたちにさせたくない。

それが正当防衛であっても悲しみしか残りません。

戦争について、日本はどう行動していきたいのか、国民の声をもっと聞いてほしいです。

時間をかけてももっとも話し合いが必要ではないでしょうか。

戦争が終わって70年。この戦争は、広島、長崎に原爆が投下されたことによってピリオドが打たれました。この終止符はだれも想像ができなかったくらい威力があり、膨大な犠牲者を出しました。広島公園の石碑には「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」広島へ行ったときこの言葉を口にしたら、涙が流れてきました。今でも、それを思うとジーンと胸が痛くなります。本当にこの犠牲になった人々が戦争を終わらせてくれたと思うと、何があっても戦争はしてはいけません。そのために憲法9条もできました。8月5日の平和宣言の中にも核兵器の廃絶が、訴えられていました。

「守りましょう!憲法9条」「なくしましょう!核兵器」「残しましょう!青い地球」
何気ない日々のくりかえし、そんな世界をこれからの子どもたちのためにずっと守っていきたいとおもいませんか?

今日8月6日08:15に黙祷をしました。

その後、^{路上で}クラブ活動の中学生が談笑しながら、大勢で通り過ぎて行ったり。公園ではグラウンドゴルフをしているお年よりのみなさん母がいたりして、あたりまえの平和な景色がありました。
あなた方の安全保障は全く意味がわかりませんが

今朝りあたりまえの景色とかわってしまうのか
戦争だしいいことはよくわかってるつもり
で、^{言う}「代り最もおとがな総理大臣にはな、てはいけませんよ。」

平和が一番!!

戦争はいらない。

国民の声をもう一度きいて下さい。

火事のたてえはそれではないです。

平和をくずさないでください。

平和が大好きです。

平和を守ってください。

障害者は平和でないと生きる事ができません。

日本が誇れる平和を大切にして下さい。

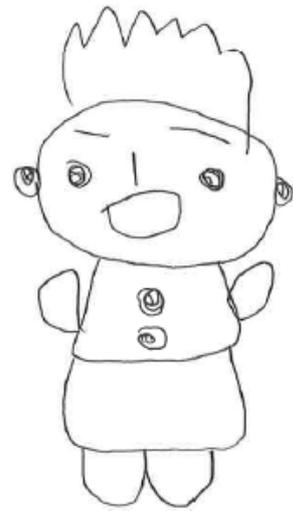
世界に

安倍首相、道を間違えないで下さい。

戦争法案、反対です。

安倍首相、利達の声を聞いて下さい。

家族と平和にこれからも暮らしたいです。



へいはは O ←

せんそうは X

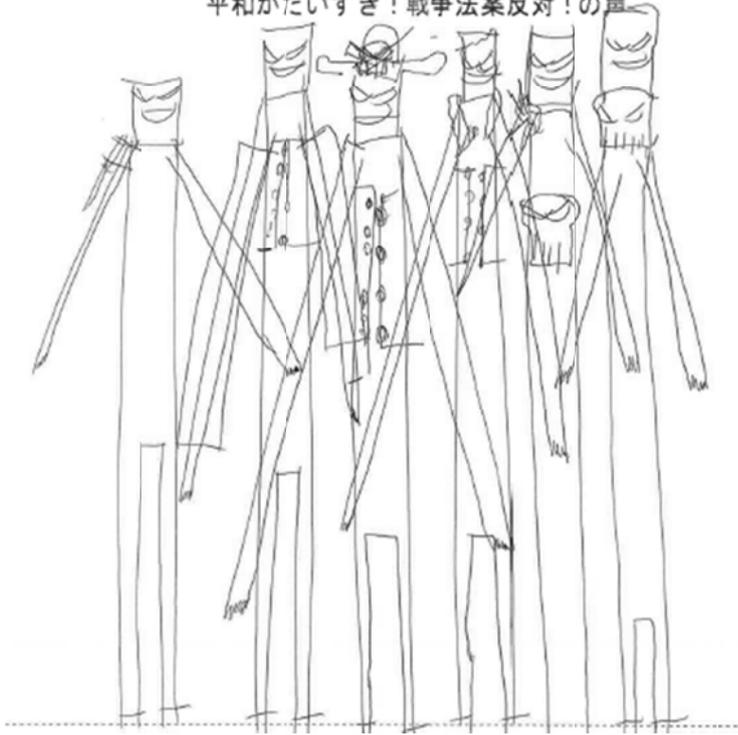
あかたさんはすき

あこうさんもすき

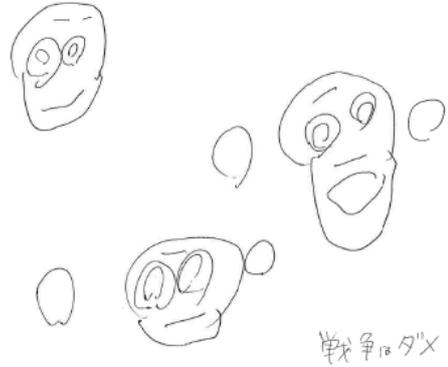
11ヶ月

一緒に ~~あかた~~ いれよか

平和がだいすき！戦争法案反対！の声



せんそうはんたい



戦争はダメ

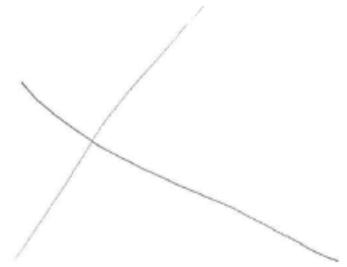
戦争とかくへいを
やめてほしいです。

土反野和彦



平和がだいすき！戦争法案反対！の声

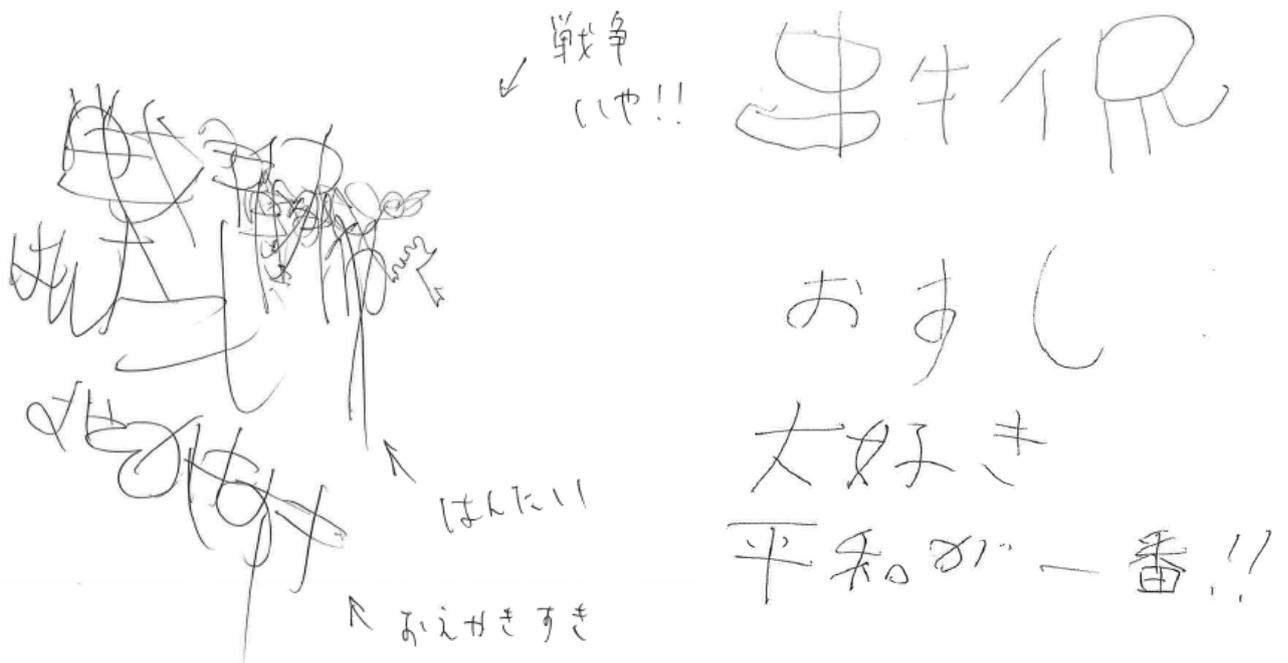
せんそうにわり



戦争反対

せんそうだめ

戦争でこえをきかなくて
たい。



戦争法案反対です！！

戦争をして誰が何を得るのでしょうか？

得るものなど何もなく、失うものばかりです。

そんなことは二度と繰り返してはいけません！！

戦後 70 年... 戦争をしない時間がまだたった 70 年しか続いていない...

その時間が永遠につづいてほしい。

この平和な時代でも色々理不尽な犯罪が次から次と起っています。

戦争にしたらどうなりますか？

先ず私達、障害者やその家族が犠牲になります。

トンデイを叩いている私達をこれ以上不審にさせたいという

特別支援学校 職員 小川弘樹

武力で力で物言わせず

黙らせようということがイヤだ！

人は人として生きる知恵があると思っている。

平和ボケと言われようが

平和でなければできないことがある。

障がい者や子ども、高齢者など

社会的に弱い立場の人たちの暮らしを守ること。

この暮らしを大切にしたい。

無理やりに力でこの「戦争法案」を押し進めていこうとすること

そして「戦争法案」に反対です！！

90才の母は、今夏泣きながらシブクロスのテレビを
見たから、「実際はもっとひどいものだよ！」と言いました。
母が満州に居ていて父は終戦間際に連の捕虜となり
クムル子と下ばかりの姉を連れて逃げ、戦争の悲惨さを
身染みで体験している人の言葉です。
泣きながらの話が事少しい戦争は、絶対にはげない
子供や氣の毒も、昔の同輩の経験は二度とはない！
戦争は絶対反対です！

戦争を以て何か良いと、利益が有りませんか？
障害者の差別... 本当に障害者は役にたつて居るのか？
今は健康者であっても中途障害もあり。
「安倍さんでも障害者になるかも知れません」
もっと当事者の気持ちを考えてください。
安倍さんは、ご自身の名前を残したい
だけではないですか？ 知の度UP...
未来の教科書や歴史に残したいのであれば
それと他に良いことありませんか？

戦争反対！！ 死なない
九条の弱者は救われる。

「朝になったのでまどをあけますよ」新井良二の絵本から

あさになったのでまどをあけますよ

やまはやっぱりそこにいる きはやっぱりここにいる だからぼくはここがすき

あさになったのでまどをあけますよ

まちはやっぱりにぎやかで みんなやっぱりいそいでいる だからわたしはここがすき

あさになったのでまどをあけますよ

かわはやっぱりながれていて さかなはきつとはねていて だからぼくはここがすき
きみのまちははれてるかな？

中略

あさになったのでまどをあけますよ

うみはやっぱりそこにいる そらはやっぱりそこにある だからぼくはここがすき
きみのまちははれてるかな？

たいれもが安心して暮らせるように...

戦争は皆の幸せをこわします。

戦争はいらないです。

戦争は絶対反対です。平和は日々の積み重ねです。戦争は人も環境もこわしてしまいます。残るのは悲しみだけです。健常な人も障害のある人も明日を夢みれる在の中にして下さい。福祉の現場に福祉の心を持った人が参加できる環境を作って下さい(絵料等)

野原信一

日本が攻められてもいないのに、米軍の後ろについて外国での戦争に参加するもの。若い人々の血が流れる、自衛隊員の命がうばわれる等により平和な生活がおびやかされる。この戦争法の成立は、きっと、戦争へ、戦争へと草木もなびく状況をつくり出す。

すでに、いまでも安倍内閣が出来て以来、防衛費は毎年毎年5兆円を超える勢いに。それまでは、4兆5千億円ですと推移。税と社会保障の一体改革と称して、消費税の増税が社会福祉、社会保障をよくする為と言って増税されたのに、年金、手当は減らされ、医療・介護の負担増。さらに社会福祉法等の改悪で公的責任の放棄の後始末、公益活動の義務化を社会福祉法人に押しつけようとしています。

再来年の消費税10%増税、そして社会保障費の自然増を3000~5000億円の毎年削減。

これだけ考えると、まさに、国民の血と汗をしばって戦争へ、戦争へ。

皆さん、どんなことがあっても、この戦争法案の成立を阻止しなければなりません。そうしなければ、希望をもって生きられません。

今、私たちの本気度が試されているのではないのでしょうか。

皆さん、全能力の全てをつくして、この法案を廃案に追い込む為、力をつくしましょう。



9.11・12 障害者の権利・自由・平等を守る行動実行委員会

事務局 愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会(愛障協)

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル3階

TEL052-682-7912 FAX052-682-7916

メール soudan732@nifty.com